

# スタクロンの特性ご紹介

2011.11.15

株式会社ブリーズ

## 1. 特徴

- 1 広範囲な微生物群…細菌、真菌（カビ）、ウイルス、孢子等に対する速効性ある除菌・不活化効果を発揮する。・・・次亜塩素酸塩の10～100倍の速効性
- 2 優れた消臭効果を発揮する。
- 3 人体に対する毒性が低い。
- 4 有害な副産物（トリハロメタン）を発生しない。
- 5 広いpH範囲（pH 1～10）で有効な効果を発揮する。
- 6 低腐食性である。
- 7 環境負荷が低い。…生分解性良好
- 8 使用が簡単である。

## 2. 使用方法

スプレー噴霧後、数十秒放置して必ずペーパータオル等で拭き取る。

## 3. スタクロンの殺微生物特性

スタクロンは、下記微生物を始めとする広範囲な微生物群に対し速効性ある除菌・不活化効果を発揮します。

### スタクロンによって除菌・不活化効果が期待できる微生物種類例

分類区分	種類例
細菌	大腸菌、O-157、緑膿菌、黄色ブドウ球菌、バイコマイシン耐性球菌、MRSA、結核菌 等
真菌	黒麹カビ、酵母系真菌、青カビ、カンジタ菌 等
ウイルス	インフルエンザウイルス、肝炎ウイルス、ポリオウイルス、ノロウイルス、 等

## 4. スタクロンの特性評価例

### 1) 除菌効果評価例

対象試験菌	試験液	試験液 1 ml 中生菌数	
		開始時	1分後
黄色ブドウ球菌	スタクロン原液	5.5×10 <sup>5</sup>	<10
			<10
			—
大腸菌	スタクロン原液	5.2×10 <sup>5</sup>	<10
			<10
			—
緑膿菌	スタクロン原液	4.8×10 <sup>5</sup>	<10
			<10
			—
サルモネラ菌	スタクロン原液	2.4×10 <sup>5</sup>	<10
			<10
			—

### 試験方法

- ・ 試験液：スタクロン原液
- ・ 試験液温：25℃、—：試験実施せず

**【結果の要点】**

スタクロン原液は、共に試験菌に対し有効な除菌効果を発揮することが確認された。

**2) 消臭効果評価例**

①臭気物質濃度減少効果の確認試験（社内試験）

アンモニア

トリメチルアミン

試験方法

20Lの密閉容器中に規定濃度の対象臭気物質ガスを充填し、容器内にスタクロン液を5回噴霧し（約5 ml）し、経過時間に伴う容器内の対象臭気物質濃度を検知管にて測定・追跡した。また、スタクロン無処理を特性比較対照とした。

**【結果の要点】**

スタクロン噴霧処理によって、臭気物質濃度は明確に低下することが確認された。

②生ごみ臭に対する消臭試験

試験方法

家庭より排出された異臭を発生する生ごみ約25Lを入れた45LのPE製生ごみ袋の上部より、10mlのスタクロンをハンドスプレーにて噴霧し、生ごみ袋を5分間密閉状態で保持後、再開封した時の発生臭気程度をスタクロン無処理品と官能法にて比較した。

**【結果の要点】**

スタクロン噴霧処理品の不快臭気発生程度は、無処理品より明らかに減少していることが確認された。

**3) 試験協力会社**

アムテック株式会社

以上